

危機管理医学講座

Emergency, Disaster and Crisis Medicine

教授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
准教授	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助教	大場 次郎	Jiro Oba
助教	徳田 秀光	Hidemitsu Tokuda

◆ 著 書

- 1) 奥寺 敬, 若杉雅浩. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. I 神経蘇生研修の基礎 1 神経蘇生とは ; p. 2-4.
- 2) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. I 神経蘇生研修の基礎 2 研修とは ; p. 5-25.
- 3) 奥寺 敬. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. I 神経蘇生研修の基礎 3 神経蘇生研修における指導者の役割 ; p. 26-27.
- 4) 奥寺 敬, 伊井みず穂. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. I 神経蘇生研修の基礎 Column1 ソサエティ5.0と臨床シミュレーション研修 ; p. 28-29.
- 5) 若杉雅浩. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. II トレーニングコース紹介 1 ISLS ; p. 32-34.
- 6) 若杉雅浩. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. II トレーニングコース紹介 3 PCEC ; p. 39-41.
- 7) 佐々木正弘, 奥寺 敬. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. II トレーニングコース紹介 Column2 複数コースモジュールの活用 ; 神経蘇生研修群の概念 ; p. 81-82.
- 8) 川原千香子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. III ワークショップの実際 1 指導者養成ワークショップ ; p. 84-87.
- 9) 遠藤拓朗, 佐々木正弘, 奥寺 敬, 鈴木明文. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. III ワークショップの実際 8 秋田NRLSワークショップ ; p. 101-102.
- 10) 川原千香子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. IV 研修対象 1 医学部学生 ; p. 104-106.
- 11) 若杉雅浩. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. IV 研修対象 3 臨床研修医 ; p. 109-110.
- 12) 奈良唯唯子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. IV 研修対象 5 看護師 ; p. 113-114.

- 13) 奈良唯唯子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. IV 研修対象 6 多職種 ; p. 115-116.
- 14) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. IV 研修対象 7 地域包括ケアスタッフ ; p. 117-120.
- 15) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. V 指導方法 1 ブリーフィング・デブリーフィング ; p. 124-127.
- 16) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. V 指導方法 2 評価とフィードバック ; p. 128-130.
- 17) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. V 指導方法 3 ファシリテーション ; p. 131-133.
- 18) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. V 指導方法 4 コーチング ; p. 134-136.
- 19) 浅香えみ子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. V 指導方法 Column3 インストラクターコンピテンシー ; p. 151-155.
- 20) 川原千香子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. VI 運営 1 シミュレーションセンター ; p. 158-162.
- 21) 川原千香子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. VI 運営 2 シミュレーションセンターの課題 ; p. 163-165.
- 22) 川原千香子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. VI 運営 Column4 ワークショップ ; p. 166-167.
- 23) 川原千香子*. 神経蘇生研修指導者ガイドブック. 『神経蘇生研修指導者ガイドブック』編集委員会編集/日本救急医学会, 日本神経救急学会, 日本臨床救急医学会, 日本脳神経外科救急学会, 日本救急看護学会監修. 東京. へるす出版. 2019 Jan 1. VI 運営 Column5 コース運営に関わる諸経費 ; p. 168-170.
- 24) 若杉雅浩. 小児コモン60疾患 実践的ガイドライン活用術. . 伊藤秀一. 東京. 中山書店. 2019 May 7. 16章 熱中症 ; p. 339-44.
- 25) 若杉雅浩. ACECガイドブック2019. ACECガイドブック2019編集委員会. 東京. へるす出版. 2019 May 29. IV -2 急性意識障害の診断と初期対応 ; p. 49-62.
- 26) 若杉雅浩. ACECガイドブック2019. ACECガイドブック2019編集委員会. 東京. へるす出版. 2019 May 29. V -12 中毒性疾患 ; p. 177-82.
- 27) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂, 安田智美, 奈良唯唯子, 橋本真由美. 日本海洋学会2019年度秋季大会講演要旨集. 日本海洋学会 2019年度秋季大会実行委員会. 富山. 日本海洋学会. 2019 Sep 25. 我が国における海洋医療教育としてのICMM(Immediate Care of Marine Medicine)の開発と展開 ; p. 167.
- 28) 橋本真由美, 奈良唯唯子, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂, 安田智美. 日本海洋学会2019年度秋季大会講演要旨集. 日本海洋学会 2019年度秋季大会実行委員会. 富山. 日本海洋学会. 2019 Sep 25. 海洋医療教育としてのICMM(Immediate Care of Marine Medicine)のデザイン ; p. 271.
- 29) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 安田智美, 奈良唯唯子, 橋本真由美. 日本海洋学会2019年度秋季大会講演要旨集. 日本海洋学会 2019年度秋季大会実行委員会. 富山. 日本海洋学会. 2019 Sep 25. 海洋医療即時対応 ICMM(Immediate Care of Marine Medicine)研修における職種別受講者自己評価の検討 ; p. 272.

◆ 原著

- 1) Sakamoto M*, Okudera H, Wakasugi M, Nagashima H, Amano K, Oba J. Improvement of patient safety by early examination using an exclusively developed portable electroencephalogram monitoring headset. *J Med Safety*. 2019; 2019: 64-67.
- 2) Sakata K*, Okudera H, Nagashima H, Ii M. Safety management on Japan Helicopter Emergency Medical Service using flight risk assessment checklist. *J Med Safety*. 2019; 2019: 89-93.
- 3) Nogami E*, Okudera H, Wakasugi M, Nagashima H. Comparison of functional resonance analysis method with root cause analysis in published data by Japan Council for Quality Health Care. *J Med Safety*. 2019; 2019: 94-97.
- 4) Wakasugi M, Matsui K, Hatano T, Okudera H. Complications associated with the use of laryngeal tube suction during pre-hospital cardiopulmonary resuscitation. *J Med Safety*. 2019; 2019: 98-100.
- 5) Kondo Y, Hifumi T, Shimazaki J, Oda Y, Shiraishi S, Hayashida K, Fukuda T, Wakasugi M, Kanda J, Moriya T, Yagi M, Kawahara T, Tonouchi M, Yokobori S, Yokota H, Miyake Y, Shimazu K. Comparison between the Bouchama and Japanese Association for Acute Medicine Heatstroke Criteria with Regard to the Diagnosis and Prediction of Mortality of Heatstroke Patients: A Multicenter Observational Study. *Int J Environ Res Public Health*. 2019 Sep 16; 16(18): 3433-3445. doi: 10.3390/ijerph16183433.
- 6) Hashimoto M, Okudera H, Wakasugi M, Kawagishi T, Shibuya T. Development of ICMM (Immediate Care of Marine Medicine) Course for First Responder in Marine. *The Japanese Journal of Hyperbaric and Undersea Medicine*. 2019 Sep 30; 54(3): 102-103.
- 7) Ii M, Okudera H, Wakasugi M, Nara I, Hashimoto M, Yasuda T. Characteristics of self-evaluation of trainees in ICMM (Immediate Care of Marine Medicine). *The Japanese Journal of Hyperbaric and Undersea Medicine*. 2019 Sep 30; 54(3): 111-112.
- 8) Takahashi K*, Wakasugi M, Okudera H, Seto C, Furuki I, Hasegawa T, Takahara S. Importance of Continuing Education for Medical Staff to Improve the Confirmation Rate of Intent for Organ Donation. *Transplantation Proceedings*. 2019 Dec; 51(10): 3213-3218. doi: 10.1016/j.transproceed.2019.08.043.
- 9) 野上悦子*, 奥寺 敬, 長島 久. Functional Resonance Analysis Method(FRAM)を用いた事例分析に関する検討有効な対策の立案に向けたFRAMの改変. *安全医学*. 2019; 16(s): 50.
- 10) 高橋 恵, 若杉雅浩, 波多野智哉, 天野浩司, 黒田 敏, 奥寺 敬. ドクターヘリで搬送された脳神経外科救急症例の検討. *Neurosurgical Emergency*. 2019; 24(2): 109-115. doi: 10.24723/jsne.24.2_109.
- 11) 本田 満, 一林 亮, 鈴木銀河, 杉山邦男, 坂元美重, 奥寺 敬. 神経救急・集中治療における脳波デバイス開発とその活用. *臨床神経生理学*. 2019 Feb 1; 47(1): 58-63. doi: 10.11422/jscn.47.58.
- 12) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 奈良唯唯子, 橋本真由美, 安田智美. 自己評価調査による富山県内ICLS研修の効果-第2報 テキストマイニングを用いた自由記述分析に焦点を当てて. *富山救急医療学会*. 2019 Aug 31; 37(1): 13-14. doi: 10.32266/toyamaqq.37.1_13.
- 13) 奥寺 敬, 若杉雅浩. 最近の国内外の災害の動向と持続可能な社会を目指して. *富山救急医療学会*. 2019 Aug 31; 37(1): 17-19. doi: 10.32266/toyamaqq.37.1_17.
- 14) 大坪幸代*, 奥寺 敬, 若杉雅浩. 健康人のサウナ浴による熱中症I度~II度脱水モデルを対象とした経口補水液GF13001の水・電解質補給効果の検討. *富山救急医療学会*. 2019 Aug 31; 37(1): 15-16. doi: 10.32266/toyamaqq.37.1_15.

◆ 症例報告

- 1) 波多野智哉, 若杉雅浩, 松井恒太郎, 奥寺 敬. 鈍的甲状腺外傷の保存的加療中に甲状腺クリーゼを呈した1例. *日本救急医学会雑誌*. 2019 Jun 6; 30(6): 182-186. doi: 10.1002/jja2.12369.

◆ 学会報告

- 1) Wakasugi M, Kawagishi T, Shibuya T, Seki N, Okudera H. Gap between public preparedness and actual response to disaster in Japan. 18th International Conference on Emergency Medicine.; 2019 Jun 12-15; Seoul. (Invited lecture)
- 2) Kawahara C, Okudera H, Wakasugi M, Ban N. The education program of rapid response system for medical student in Japan. The 8th World Congress of Clinical Safety (8WCCS); 2019 Oct 2-4; Czech Republic.
- 3) Nara I, Okudera H, Wakasugi M, Hashimoto M, Kawahara C. Safety Management of Heat Stroke for the 2020 Tokyo

Summer Olympics. The 8th World Congress of Clinical Safety (8WCCS); 2019 Oct 2-4; Czech Republic.

- 4) Okudera H, Wakasugi M, Ii M, Kawagishi T, Shibuya T, Seki N, Moriya T. Electronic Triage Support System and Emergency Consulting using Artificial Intelligence Chat-bot System. 13th European Emergency Medicine Congress; 2019 Oct 12-16; チェコ共和国.
- 5) Wakasugi M, Ikeda H, Okudera H. Development of the Education Course on Marine Medicine. 13th European Emergency Medicine Congress; 2019 Oct 12-16; チェコ共和国.
- 6) Ii M, Okudera H, Wakasugi M, Kawagishi T, Hatano T, Shibuya T, Seki N, Yasuda T. Participant Survey on Off-the-job-training of Resuscitation using Tech Mining in Japan. 13th European Emergency Medicine Congress; 2019 Oct 12-16; チェコ共和国.
- 7) 本多 満, 一林 亮, 鈴木銀河, 渡辺雅之, 杉山邦男, 安心院康彦, 奥寺 敬. 神経救急・集中治療における脳波デバイス開発とその活用. 第48回日本臨床神経生理学会学術大会; 2018 Nov 8-10; 東京. (2018年度未掲載分)
- 8) 山畑圭篤, 森村尚登, 井口竜太, 奥寺 敬, 織田 順, 佐々木淳一, 杉田 学, 中川 隆, 増野智彦, 三宅康史, 本多英喜. コンソーシアムへの提案 日本救急医学会が取り組む課題と対策 救護所・医務室における医療チーム要件と研修体制について 第46回日本救急医学会総会・学術集会; 2018 Nov 20; 横浜. (2018年度未掲載分)
- 9) 若杉雅浩, 奥寺 敬. 「JRCガイドライン2020脳神経蘇生」進捗状況 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪.
- 10) 安心院康彦, 奥寺 敬, 坂本哲也, 岩瀬正顕. 神経蘇生研修指導者の養成. 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪. (シンポジウム・ワークショップ パネル).
- 11) 坂元美重*, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 安心院康彦, 黒田泰弘, 永山正雄, 豊田 泉, 本多 満. 簡易型脳波システムの開発と脳神経外科救急への導入の意義. 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪.
- 12) 若杉雅浩, 奥寺 敬. 災害机上演習 Emergo Train System における頭部外傷患者の実態. 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪.
- 13) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 橋本真由美, 浅香えみ子. PNLS(脳神経外科救急初期対応)の学習を効果的にするための受講者自己評価表の作成. 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪.
- 14) 奈良唯唯子*, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 橋本真由美. 神経蘇生研修群におけるPNLSの特徴 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪.
- 15) 佐々木正弘, 鈴木明文, 師井淳太, 石川達哉, 奥寺 敬. e-learningを用いた秋田方式のISLSワークショップ (ISLS-WS) の経験. 第24回日本脳神経外科救急学会; 2019 Feb 1-2; 大阪.
- 16) 奥寺 敬. 日本の脳死・臓器提供の現状. 第24回日本脳神経外科救急学会・脳死対応ハンズオンセミナー; 2019 Feb 2; 大阪. (招待講演)
- 17) 澁谷伸子, 青木正哉, 種市尋宙, 山崎光章, 奥寺 敬. 小児心臓手術後の横隔神経麻痺に対し横隔膜縫縮術を志向した症例の予後調査. 第46回日本集中治療医学会総会; 2019 Mar 1-2; 京都.
- 18) 波多野智哉, 若杉雅浩, 奥寺 敬. 高山病が疑われたが褐色細胞腫クリーゼと診断した1例. 第46回日本集中治療医学会総会; 2019 Mar 1-3; 京都.
- 19) 奥寺 敬. 救急災害医療の諸課題はSociety5.0で解決するのか? 我が国の災害医療体制の現状 (特別講演). 第13回富山県透析医学会; 2019 Mar 3; 富山. (招待講演)
- 20) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂, 橋本真由美, 奈良唯唯子. Society 5.0における災害医療の位置どり. 第24回日本災害医学会; 2019 Mar 18; 米子.
- 21) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 橋本真由美, 奈良唯唯子. 夏季オリンピック大会における爆弾テロ事例. 第24回日本災害医学会; 2019 Mar 18; 米子.
- 22) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 浅香えみ子. Text Miningによる患者急変対応コースfor Nurses(KIDUKIコース)受講後意識調査の分析・検討. 第11回日本医療教授システム学会; 2019 Mar 22; 札幌.
- 23) 奥寺 敬, 伊井みず穂, 若杉雅浩, 浅香えみ子, 橋本真由美. テキストマイニングによるKIDUKI コースの受講後意識調査の分析からみた ID のSociety5.0 への応用の可能性. 第11回日本医療教授システム学会; 2019 Mar 22; 札幌. (招待講演)
- 24) 奥寺 敬. オリンピック医療の真実-1996アトランタ/1998長野から2020東京に向けて. 第18回日本旅行医学会; 2019 Apr 7; 東京. (招待講演)
- 25) 奥寺 敬. 脳神経外科救急研修としてのPNLS. 第39回日本脳神経外科コンgres; 2019 May 16; 横浜.
- 26) 野上悦子*, 奥寺 敬, 長島 久. Functional Resonance Analysis Method(FRAM)を用いた事例分析に関する検討

- 有効な対策の立案に向けたFRAMの改変. 第17回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会; 2019 May 25-26; 和歌山.
- 27) 奥寺 敬. 航空医療とドローンの医療応用のコラボレーションの提案. 超党派ドクターヘリ推進議連; 2019 May 29; 東京. (招待講演)
- 28) 奥寺 敬. ISLS/JTASブラッシュアップセミナー. 第22回日本臨床救急医学会; 2019 Jun 1; 和歌山. (招待講演)
- 29) 安心院康彦, 阿部佳奈, 中村友紀, 齋藤 亮, 永山正雄, 竹内保男, 金子一郎, 三宅康史, 坂本哲也, 奥寺 敬. ブロックゲームを用いた救命の連鎖トレーニング第2報-多職種対応教材の開発-. 第22回日本臨床救急医学会; 2019 Jun 1; 和歌山.
- 30) 奈良唯唯子*, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 池田尚人, 安心院康彦, 石原 哲, 浅香えみ子, 川原千香子, 橋本真由美. 海洋医療初期対応 (Immediate Care of Marine Medicine) コースについて. 第22回日本臨床救急医学会; 2019 Jun 1; 和歌山.
- 31) 岩瀬正顕, 浅井昭彦, 奥寺 敬, 池田尚人, 高橋 恵. PNLs脳神経外科救急基礎コース(Primary Neurosurgical Life Support:PNLS)開催と指導者養成の現状. 第22回日本臨床救急医学会; 2019 Jun 1; 和歌山.
- 32) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂. 神経蘇生研修における指導について. 第33回日本神経救急学会; 2019 Jun 8; 高槻.
- 33) 奥寺 敬. G20, 大阪・関西万博に備えて化学テロについて知っておこう-松本サリン事件の経験から-. 第33回日本神経救急学会; 2019 Jun 8; 高槻. (招待講演)
- 34) 奥寺 敬. 脳卒中初期診療研修について. 第33回日本神経救急学会; 2019 Jun 8; 高槻.
- 35) Hashimoto M, Okudera H, Wakasugi M. Neuroresuscitation-related Simulation Training for Neurocritical Care Staff. Neurocritical Care Society Asian and Oceanian Chapter Annual Meeting 2019; 2019 Jun 9; 大阪. (シンポジウム・ワークショップ パネル) (招待講演)
- 36) Okudera H, Wakasugi M, Kawagishi T, Shibuya T, Seki N. PreKTAT and Prehospital Trauma Triage (Guidelines for the Management of Head Injury and Trauma Education in Japan). 18th International Conference on Emergency Medicine.; 2019 Jun 12-15; Seoul. (Invited lecture)
- 37) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 波多野智哉, 川岸利臣, 澁谷忠希, 席 望, 安田智美. 海洋医療即時対応研修ICMMにおける効果的学習を受講者意識調査から考える. 第16回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会/第52回日本高気圧環境・潜水医学会 合同学会; 2019 Jun 15-16; 東京.
- 38) 奥寺 敬. Society 5.0の時代の教育研修の考え方-ICMMコース設計を例として. 第16回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会/第52回日本高気圧環境・潜水医学会 合同学会; 2019 Jun 15-16; 東京. (招待講演)
- 39) 奥寺 敬. 海洋医療即時対応 (Immediate Care of Marine Medicine) 研修について. 第16回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会/第52回日本高気圧環境・潜水医学会 合同学会; 2019 Jun 15-16; 東京.
- 40) 奥寺 敬. 潜水医学の基礎知識. 第16回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会/第52回日本高気圧環境・潜水医学会 合同学会; 2019 Jun 15-16; 東京.
- 41) 奥寺 敬. ドクターヘリとドローンのコラボレーションの重要性. 日本ドローン・エアレスキュー・コンソーシアム; 2019 Jul 6; 東京. (招待講演)
- 42) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂, 奈良唯唯子, 橋本真由美. ICMM (Immediate Care of Marine Medicine) の紹介. 第2回日本高気圧環境・潜水医学会東海北陸地方会学術集会; 2019 Jul 6; 岐阜. (招待講演)
- 43) 伊井みず穂, 安田智美, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 奈良唯唯子, 橋本真由美. ICMM(Immediate Care of Marine Medicine)の受講者自己評価からみた効果的学習のあり方. 第2回日本高気圧環境・潜水医学会東海北陸地方会学術集会; 2019 Jul 6; 岐阜.
- 44) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 奈良唯唯子. 夏季オリンピック大会における熱中症への対策 -Atlanta1996現地調査よりTOKYO2020に向けて. 第22回日本脳低温療法・体温管理学会; 2019 Jul 14; 東京. (招待講演)
- 45) 奥寺 敬, 坂元美重, 若杉雅浩. Emergency EEG Anywhere Anytime Save Brain. 日本集中治療医学会第3回関東甲信越支部学術集会; 2019 Jul 27; 甲府. (招待講演)
- 46) 天野浩司*, 吉田淑子, 岡部素典, 小池千加, 大場次郎, 小橋大輔, 古市恵津子, 二階堂敏雄, 奥寺 敬. 露出腸管を伴う解放創の治療に対するハイパードライ羊膜の応用について. 第18回日本組織移植学会総会・学術集会; 2019 Aug 4; 名古屋.
- 47) 大場次郎*, 吉田淑子, 岡部素典, 相古千加, 天野浩司, 小橋大輔. III度熱傷に対する被覆材としてのハイパードライ人乾燥羊膜の応用に関するマウスを用いた研究. 第18回日本組織移植学会総会・学術集会; 2019 Aug 4;

名古屋.

- 48) 奥寺 敬. 最近の国内外の災害の動向と持続可能な社会を目指して. 富山救急医療学会第37回学術集会; 2019 Aug 31; 富山. (招待講演)
- 49) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 奈良唯唯子, 橋本真由美, 安田智美. 自己評価調査による富山県内ICLS研修の効果-第2報. 富山救急医療学会第37回学術集会; 2019 Aug 31; 富山.
- 50) 大坪幸代*, 奥寺 敬, 若杉雅浩. 健常人のサウナ浴による熱中症 I 度~II 度脱水モデルを対象とした経口補水液GF13001の水・電解質補給効果の検討. 富山救急医療学会第37回学術集会; 2019 Aug 31; 富山.
- 51) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂, 安田智美, 奈良唯唯子, 橋本真由美. 我が国における海洋医療教育としてのICMM(Immediate Care of Marine Medicine)の開発と展開. 日本海洋学会2019年度秋季大会; 2019 Sep 25-29; 富山.
- 52) 橋本真由美, 奈良唯唯子, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂, 安田智美. 海洋医療教育としてのICMM(Immediate Care of Marine Medicine)のデザイン. 日本海洋学会2019年度秋季大会; 2019 Sep 25-29; 富山.
- 53) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 安田智美, 奈良唯唯子, 橋本真由美. 海洋医療即時対応ICMM(Immediate Care of Marine Medicine)研修における職種別受講者自己評価の検討. 日本海洋学会2019年度秋季大会; 2019 Sep 25-29; 富山.
- 54) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 川原千香子. 1996アトランタ夏季大会および1998長野冬季大会の医療対応の経験から見た2020東京大会への提言. 第61回日本病院学会 in 愛知; 2019 Sep 28; 名古屋.
- 55) 若杉雅浩, 三浦太郎, 山田 毅. 地域で考えるAdvanced Emergency Care Planning. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 2019 Oct 2-4; 東京.
- 56) 天野浩司*, 吉田淑子, 岡部素典, 相古千加, 大場次郎, 小橋大輔, 若杉雅浩, 奥寺 敬, 臼井章浩, 中田康城. 露出腸管を伴う開放創に対する被覆材としてのハイパードライ羊膜の応用に関する検討. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 2019 Oct 2-4; 東京.
- 57) 大場次郎*, 吉田淑子, 岡部素典, 相古千加, 天野浩司, 小橋大輔, 若杉雅浩, 奥寺 敬. 3度熱傷に対する被覆剤としてのハイパードライ羊膜の応用に関する検討. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 2019 Oct 2-4; 東京.
- 58) 森村尚登, 奥寺 敬, 溝腹康光, 櫻井 淳, 大友康裕, 佐々木淳一, 新井 悟, 武田 聡, 坂本哲也, 横田裕之, 島津岳士. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに関わる救急・災害医療体制を検討する学術連合隊の活動現状と今後の展開について. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 2019 Oct 2-4; 東京.
- 59) 波多野智哉, 若杉雅浩, 松井恒太郎, 奥寺 敬. 鈍的甲状腺外傷の保存的加療中に甲状腺クリーゼを呈した1例. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 2019 Oct 2-4; 東京.
- 60) 奥寺 敬. Society 5.0 for SDGsが開く救急医療の展望. 第21回日本救急看護学会学術集会; 2019 Oct 5; 千葉. (招待講演)
- 61) 奥寺 敬. 2020年東京オリンピック・パラリンピックコンソーシアムによる医療活動計画と危機管理 アトランタ夏季オリンピック(1996)および長野冬季オリンピック(1998)における組織委員会による医療救護活動の経験より. 第21回日本救急看護学会学術集会; 2019 Oct 5; 千葉. (招待講演)
- 62) Okudera H, Hashimoto M, Wakasugi M, Kawagishi T, Shibuya T, Seki N, Ii M, Nara I. Development of ICMM(Immediate Care of Marine Medicine) course for first responder in marine medicine. 4th Conference of Asia-Pacific Undersea and Hyperbaric Medical Society; 2019 Oct 25; 中津. (招待講演)
- 63) Ii M, Wakasugi M, Nara I, Hashimoto M, Yasuda T. Characteristics of self-evaluation of trainees in ICMM (Immediate Care of Marine Medicine). 4th Conference of Asia-Pacific Undersea and Hyperbaric Medical Society; 2019 Oct 25; 中津.
- 64) 奥寺 敬. 航空医療を取り巻く環境の変化と未来. 第26回日本航空医療学会総会; 2019 Nov 8; 富山.
- 65) 奥寺 敬. 大規模イベントにおける救急・災害医療-過去のアトランタ1996, 長野1998の経験, そしてTokyo2020に向けて. 第22回日本救急医学会中部地方会学術集会; 2019 Nov 23; 浜松. (招待講演)
- 66) 奥寺 敬. 病院前救急診療医学とPrehospital Careをめぐる考察. 第14回日本病院前救急診療医学会; 2019 Dec 7-8; 富山.
- 67) 奥寺 敬. 今こそグラウンドナースの時代-何故, 今, グラウンドナースなのか?. 第14回日本病院前救急診療医学会; 2019 Dec 7-8; 富山.
- 68) 伊井みず穂, 奥寺 敬, 若杉雅浩, 茂野 敬, 安田智美. 看護学生から見たドクターカーのイメージ. 第14回日本病院前救急診療医学会; 2019 Dec 7-8; 富山.

◆ その他

- 1) 奥寺 敬. 海洋医療初期対応研修としての Immediate Care on Marine Medicine (ICMM). 第3回日本高気圧酸素・潜水医学会ICMM プロバイダー研修会; 2019 Jan 11; 東京. (招待講演)
- 2) 奥寺 敬. ICLS研修における指導者の役割. 第19回剣ICLS指導者養成研修会; 2019 Jan 12; 富山.
- 3) 奥寺 敬. JTASの地域救急医療における役割. 秋田県第1回JTAS2017認定プロバイダーコース; 2019 Jan 27; 秋田. (招待講演)
- 4) 奥寺 敬. Japan Triage and Acuity System (JTAS) と Artificial Intelligence (AI). 秋田大学救急医療講演会; 2019 Jan 27; 秋田. (招待講演)
- 5) 奥寺 敬. 心肺停止の初期対応研修-ICLSについて. 第93回剣ICLSプロバイダー研修会; 2019 Feb 17; 富山.
- 6) 奥寺 敬. シミュレーション研修とISLS. 第3回室蘭ISLS研修会; 2019 Feb 23; 室蘭. (招待講演)
- 7) 奥寺 敬. 救急災害医療の最新の動向. 室蘭災害・救急医療を考える会; 2019 Feb 23; 室蘭. (招待講演)
- 8) 奥寺 敬. 神経蘇生研修としてのISLSの指導法. 第1回室蘭ISLS指導者養成研修会; 2019 Feb 24; 室蘭. (招待講演)
- 9) 奥寺 敬. 国際的災害医療研修 EMERGO Lecture 0. 富山ヘルスケアプロバイダー TC; 2019 Feb 29; 富山.
- 10) 奥寺 敬. 1996アトランタ視察・1998長野医療救護の経験から-オリンピック医療の真実とテロ対策. 慈恵会医科大学4病院合同災害対策訓練; 2019 Mar 13; 東京. (招待講演)
- 11) 奥寺 敬. 心肺蘇生研修ICLSについて. 平成31年度富山県初期臨床研修医シミュレーション研修会ICLS第1日目; 2019 Apr 11; 富山.
- 12) 奥寺 敬. 心肺蘇生研修ICLSについて. 平成31年度富山県初期臨床研修医シミュレーション研修会ICLS第2日目; 2019 Apr 12; 富山.
- 13) 奥寺 敬. 最新の救急医療とAI(人工知能)・ドローンの活用. 救急医療研修会; 2019 Apr 12; 静岡. (招待講演)
- 14) 奥寺 敬, 池田尚人, 三浦邦彦, 石山純三. 海洋医療初期対応 (ICMM) の概要. 第4回日本高気圧酸素・潜水医学会ICMM プロバイダー研修会; 2019 Apr 13; 静岡. (招待講演)
- 15) 奥寺 敬. 潜水医学の基礎知識. 第4回日本高気圧酸素・潜水医学会ICMM プロバイダー研修会; 2019 Apr 13; 静岡. (招待講演)
- 16) 奥寺 敬. 救急医療システムと臓器移植-レシピエント搬送の問題点. 第3回ばんだね病院臓器移植 Seminar; 2019 Jul 5; 名古屋. (招待講演)
- 17) 奥寺 敬. 2020東京オリンピックの医療救護について-1966アトランタの経験より-. 日本赤十字社大森赤十字病院災害医療講演会; 2019 Jul 12; 東京. (招待講演)
- 18) 奥寺 敬. ICLS研修の概要と学習目標. 第94回剣ICLS研修会; 2019 Jul 17; 富山.
- 19) 奥寺 敬. ICLS研修の概要と学習目標. 第96回剣ICLS研修会; 2019 Sep 1; 富山.
- 20) 奥寺 敬. 脳卒中撲滅を目指して-脳卒中診療研修のあり方. 日本脳卒中協会 ストップ! NO卒中プロジェクト支部講演 in 秋田; 2019 Sep 28; 秋田. (招待講演)
- 21) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 伊井みず穂. ENLS Emergency Neurological Life Support と神経蘇生シミュレーション研修の位置づけ. 第2回秋田ENLS研修会; 2019 Sep 29; 秋田. (招待講演)
- 22) 奥寺 敬. 1996アトランタ視察・1998長野医療救護の経験からTOKYO2020の医療救護を考える. 昭和大学オリンピック医療講演会; 2019 Oct 5; 東京. (招待講演)
- 23) 奥寺 敬. 東京2020に向けた医療対策を議論 第47回日本救急医学会の話題より. 週間 医学会新聞 第3345号; 2019 Nov 4; 取材地: 富山.
- 23) 奥寺 敬. JTASと人工知能による救急相談システム. 第5回脳・神経救急治療のABC; 2019 Nov 10; 名古屋. (招待講演)
- 24) 奥寺 敬. オリンピック医療とは-アトランタ1996視察と長野1998医療救護ディレクターの経験より-. FUKUSHIMA 集安災害に対する医療救護シンポジウム; 2019 Nov 16; 福島. (招待講演)
- 25) 喜熨斗智也, 奥寺 敬, 田中秀治. 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたファーストエイド教育. FUKUSHIMA 集安災害に対する医療救護シンポジウム; 2019 Nov 16; 福島. (招待講演)
- 26) 奥寺 敬. 移植医療と脳死臓器提供について. 富山大学附属病院臓器移植パネルディスカッション; 2019 Dec 3; 富山. (招待講演)